

昔あそびを楽しもう

～ 昔あそび教室 ～



慎重にてっぽうを製作

今年6月、猪名川小学校の子どもを対象とした昔あそび教室が誕生。猪名川小学校内において猪名川あそび会の全面協力により、子どもたちはカルタ・

竹コップリ・コマ回しなどの昔遊びを体験しています。
7月26日、夏休み中の学校に9人の子どもが集まり、猪名川あそび会の講師5人と一緒にしのべてっぽう作りが行われました。子どもたちは講師の指導のもと慎重にのこぎりやなたを使い、竹を切って、てっぽうが完成。
ティッシュペーパーを固く丸



しのべてっぽうを作り、的に向かって飛ばしました

集

ま

れ

子

ど

も

た

ち

！

放課後子ども教室を実施中

いながわ



高橋 祐子



田野 香織

特派員報告

事業の目的・取組内容

夏休みが終わり、いよいよ二学期が始まります。今回は町内で実施されている「放課後子ども教室」について紹介します。

兵庫県では少子化・核家族化などの子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、県内の小学校区において、放課後や週末などに小学校施設などを活用して、子どもたちの安全で安心な活動拠点を確保する「ひょうご放課後プラン事業」を推進しています。

室として3つの小学校区で、学校・PTA・自治会などの地域の皆さんの協力を得て、この事業の実施にあたっています。

子どもたちが地域住民とともに勉強・スポーツ・文化活動・異世代交流活動などに取り組みることにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれることを目指しています。

放課後の子どもたちの居場所づくり ～ 楊津寺子屋 ～



猪名川高校のお姉さんに見てもらいました宿題

今年6月に楊津小学校の子どもや保護者同伴の未就学児、中学生を対象として、「楊津寺子屋」が誕生しました。

学校支援ボランティア団体の楊津愛校会と猪名川高校の生徒も協力し、毎月2

回第2・第4月曜日の放課後午後2時50分～同4時40分に、楊津小学校内で活動しています。

木の香りと温もりに包まれた校舎に入ると、静かに宿題をする子どもたちの姿。はじめに宿題すること

は絶対条件ではありませんが、宿題を終わらせてから遊ぶ子どもがほとんどです。

宿題ができたら校庭で友だちや猪名川高校の生徒と遊ぶ時間。サッカー、ドッジボール、竹馬に挑戦したり、校庭に張ったテントの下でカルタやオセロを楽しむ子どもいました。



竹馬やフラフープなどで遊びました

もは60人。日曜日の夜は次の日の寺子屋を楽しみにしている子どもが多いようです。

《楊津愛校会の河村さんのお話》

楊津小学校の草刈などのボランティアをする中で、子どもたちに何かできないかという話になり、地域と学校が一体となって楊津寺子屋は生まれました。

私たちの宝である子どもたちのために、まずは安全第一で地域と学校とPTAが協力して長く続けていきたい。寺子屋のボランティアも募集中です。

すべての子どもたちに向けて

くじもパークつつじが丘

こどもパークつつじが丘は、アザレアホール（つつじが丘自治会館）を活動の場として、主に毎週土曜日に開催しています。つつじが丘小学校区以外の子どもたちも参加することができま

子どもたちの表情はいきいきとして真剣そのものでした。冒険クラブ講師の後藤さんは、12歳からボイスカウト

の経験を持つ遊びの大先輩。子どもたちを強く育てたいとの思いから、遊びを通じて身近な野草の知識・火の扱い方・水をろ過する方法などさまざまなことを教えていきたくと話されました。

《子どもパークつつじが丘の小川さんのお話》
地域の皆さんのおかげで長く続けてこられました。このような活動が他の地域にも広がっていくことを願っています。

茶道・お作法教室・工作など内容は毎回盛りだくさん。今回は冒険クラブと囲碁教室を取材しました。

◆冒険クラブ11人の子どもが参加し、ザリガニ釣り大会などが行われました。ザリガニ釣りの竿なども自分たちで作りまし



ザリガニ釣りに挑戦

小学生の男の子は「勝った時が楽しい。初段を目指しています」と話していました。

8月5日に大阪商業大学で開催された子ども囲碁大会（アジア平和子ども囲碁大会予

後編 編集集



取材を通して、改めて子どもが思いきり遊ぶことの素晴らしさと大切さを感じました。

今回紹介した各団体にに関する問い合わせは、生涯学習課（☎767・2600）へ。